

理学療法（りがくりょうほう、英語：Physical Therapy）

一般に考えられている高齢者や、事故などにより発生した身体機能障害の回復のためのトレーニングのみならず、脳卒中での麻痺などから、循環器・呼吸器・内科・難病疾患等の身体的な障害を持つ人に対して、医師の指示の下、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操やその他の運動（運動療法という）を行い、電気刺激、温熱、寒冷、光線、水、マッサージなどの物理的手段（物理療法という）を加え身体機能、動作能力の改善を図ることを言います。理学療法の中には、大きく分けて、運動療法、物理療法、動作訓練があります。

また、能力障害が残存した際には、基本的動作や日常生活活動を改善するための指導、社会生活を送る上で不利な要素を少なくするため、福祉用具の選定や住宅改修・環境調整、在宅ケア等も含まれます。近年では、生活習慣病の予防、コントロール、障害予防も理学療法の対象となっています。

理学療法を実施する者を理学療法士（英語：Physical Therapist）と言います。当院では各種徒手療法その他、バイオニックレグやウォークエイド、WelWalk等のロボット機器を活用しております。また、週1回のブレイスクリニックではリハ医と義肢装具士と担当療法士で症例に応じた義肢装具の選定と作成を行っています。